

R5年一般会計予算

64 億 4300 万円

- 子ども予算が増えました。
 - ・駅西口公園は小さい子が安全に遊べるように配慮
 - ・町立幼稚園で3年保育実施(33年前のお母さんたちの要望が実現です。)
- パートナーシップ制度が導入されました。(法的な婚姻制度ではないのですが、嵐山町でも多様な性のあり方を認め、同性の婚姻を証明して公営住宅などに入居できます)
- 議員は予算の修正案が提案できます
 - ・部落解放同盟への補助金 40 万円をやめ、町の公共施設でインターネット回線が使える予算に修正提案。否決でした。同和差別は今も続いていると思いますが、補助金交付は、問題をずらした政策。補助金交付で差別対策をしているというのは、町事業として不適切だと考えます。



■誰もが住みやすい町は、それぞれの人の生活に幸福感があります。

幸福度日本1の鳩山町と嵐山町の予算を比較すると鳩山町税率は嵐山町より少ない。交通に関する経費が鳩山町は嵐山町の4.3倍。(国の交付金を活用するため実際の鳩山町負担は少ない)

嵐山町 (17493 人)		鳩山町 (12977 人)	
65 歳以上人口 5967 人		65 歳以上人口 6011 人。	
高齢化率 34%		高齢化率 46%	
要介護認定率 16.2%(R 5年 3月)		要介護認定率 12.7%(R 5年 2月)	
歳入 (A)	64 億 6300 万円	総額	53 億 900 万円
税収 (B)	27 億 5434 万円	税収	16 億 5855 万円
税収の比率 B/A	(42.6%)	税収の被率	(31.2%)
広域路線バス負担金	345 万 6000 円	町営路線バス	4127 万円 (鳩山町負担 1486 万円)
高齢者外出支援タクシー	1150 万円	デマンドタクシー運行経費	3878 万円 (赤字分の 8 割は国負担)
生活サポート事業	332 万 8000 円	生活サポート事業	242 万 2000 円
移動支援自業	80 万 4000 円	移動支援事業	52 万 5000 円
交通予算	1908 万 8千円	交通予算	8299 万円

- 鳩山町は 駅がありませんが円形なので、交通網が作りやすい。国の交付金の利用が上手です。デマンド乗合タクシーは町内はどこでも一律 200 円、埼玉医大、北坂戸駅、につきいは 600 円 町営路線バスは、高坂駅、越生駅があります。
- 嵐山町は南北に細長く、駅周辺に住宅・医療機関・お店が集中。北部・南部の人は、駅近くのお店や医療機関に行きたくても、交通手段がなくお出かけが不便。
- 地域交通を確立することに重点を置きたい。七郷小学校近辺を中心にしたワゴン車によるデマンド乗合タクシーを提案しています。 学校再編に合わせスクールバス運営が検討されており、方向が見えません。

※生活サポート事業＝障害者手帳を持っている人の自動車を利用した有償移動への補助金交付事業
 ※移動支援事業＝障害者等の外出時の活動にヘルパーが同行して移動・介護する事業